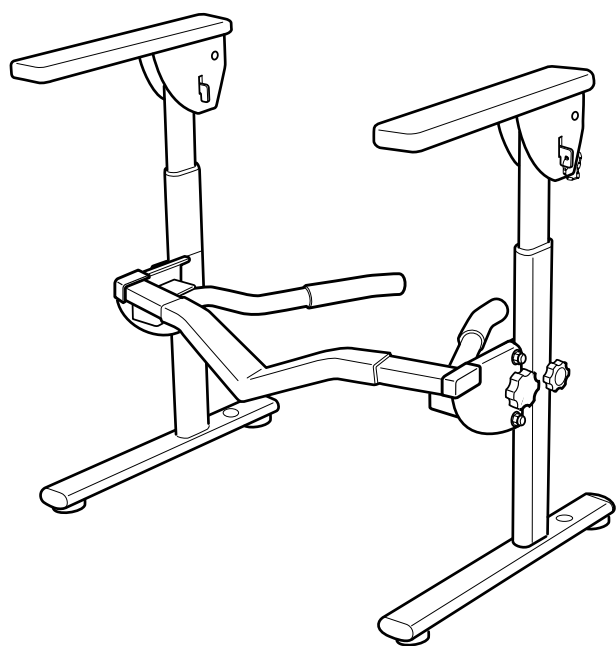
洋式トイレ用フレームS-はねあげR
取扱説明書

●このたびは洋式トイレ用フレームS-はねあげRをお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
●正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。

もくじ

必ずお読みください

各部のなまえ 1
■各部のなまえ／部品・付属品／仕様

安全上のご注意 2・3
■設置上のご注意
■使用上のご注意
■お手入れ上のご注意

使いかた

取り付け方法 4・5
■フレームの組みたて方法
■便器への取り付け方法
■床への固定方法

使いかた 6
■ひじ掛けの高さ調節方法
■ひじ掛けの使用方法

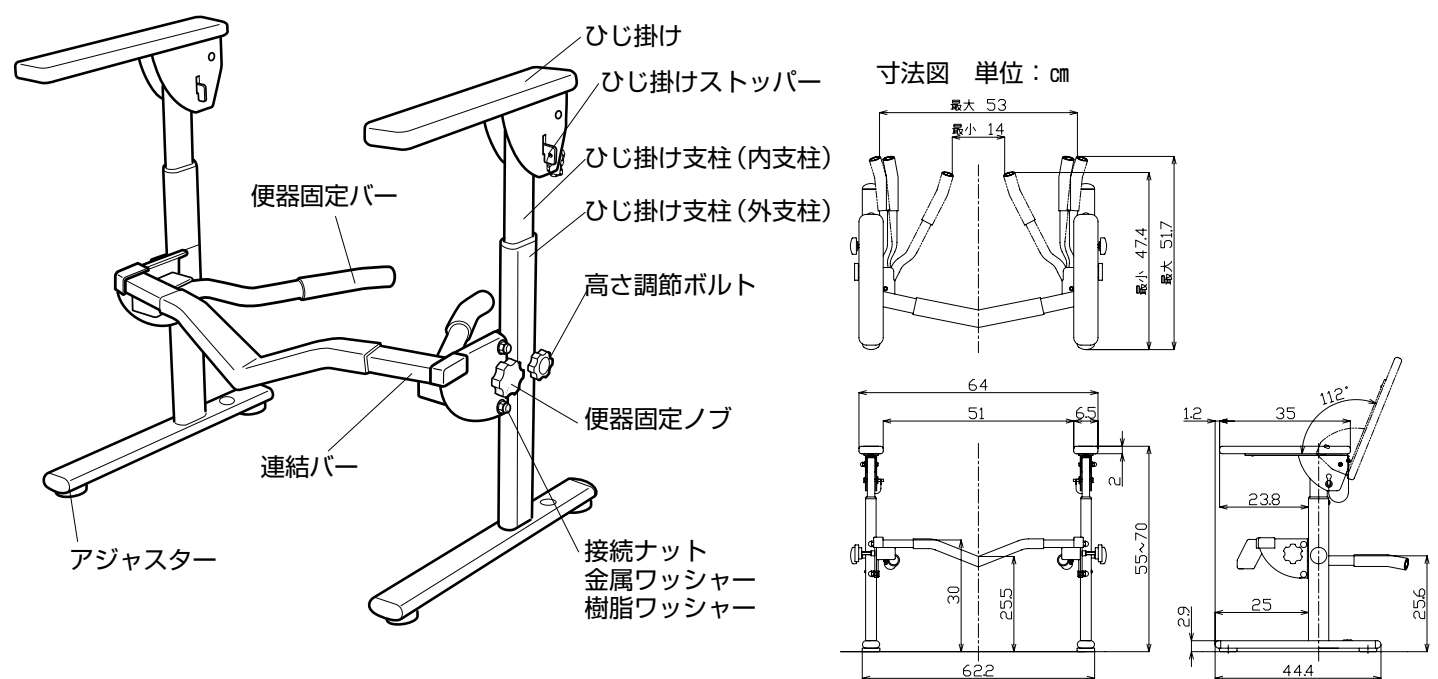
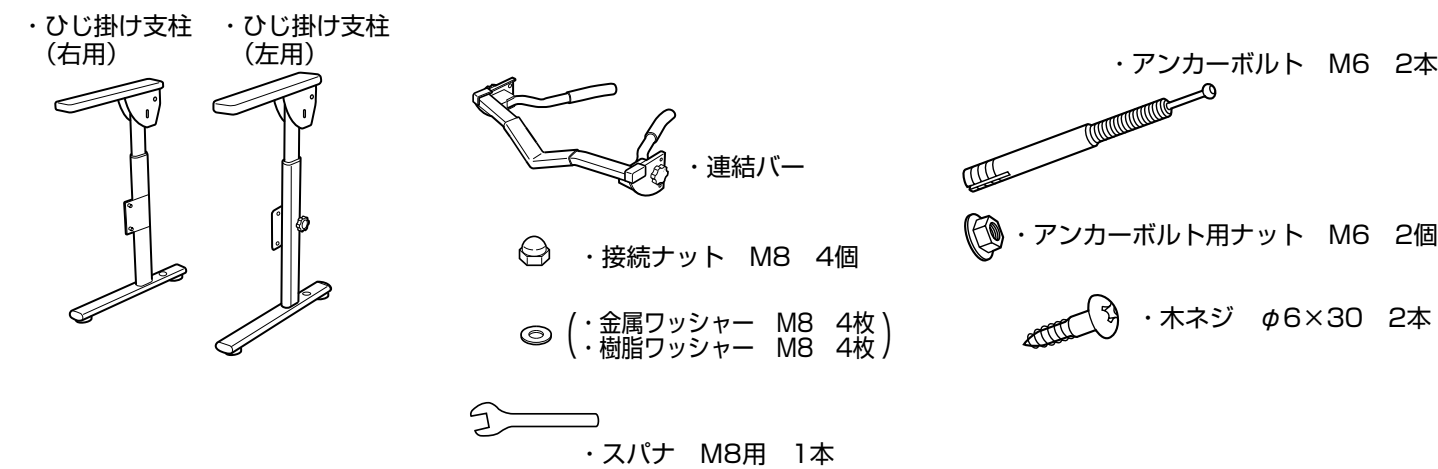
お手入れの方法 7
■お手入れ上のご注意

安全にお使いいただくために 8・9

困ったとき

交換部品 9・10
■交換部品
■部品交換方法

ARONKASEI CO.,LTD.

各部のなまえ

■部品・付属品　組みたてる前に部品をご確認ください

■仕様

品名	洋式トイレ用フレームS-はねあげR	
構成部材	部　品　名	材　　質
	ひじ掛け	タモ集成材
	ひじ掛け支柱	スチール（カチオン電着塗装・エポキシ系粉体塗装）
	連結バー	スチール（カチオン電着塗装・エポキシ系粉体塗装）
	便器固定バー	スチール（カチオン電着塗装・エポキシ系粉体塗装）
	接続ナット	ステンレス
	ひじ掛けストッパー	ステンレス／ポリプロピレン
	便器固定ノブ	ナイロン／ステンレス
	高さ調節ボルト	ポリプロピレン／ステンレス
	アジャスター	SBR／ステンレス
寸法	幅64×奥行50×高さ55～70cm　ひじ掛け高さ55・58・61・64・70cm	
重量	約9.0kg	

安全上のご注意 （必ずお守りください）

この製品は、家庭の洋式トイレで使用するための「据え置き手すり」です。
それ以外の目的での使用はおやめください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告	誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。
⚠ 注意	誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示（図記号）で区分し、説明しています。（下記は絵表示の例です）

必ず実行していただく「強制」内容を説明しています。

  してはいけない「禁止」内容を説明しています。

設置上のご注意（使用前に必ず点検してください。）

必ず実行すること

正常な設置状態 ひじ掛けは右用と左用を正しく取り付けてください。

便器に連結バーをあててください。

高さ調節ボルトをしっかり締め付けてください。

必ず便器に固定してください。

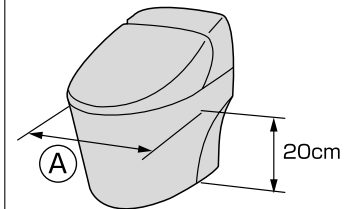
接続ナットをしっかり締め付けてください。

床面の状態によりガタツキがある場合はアジャスターで調節してください。

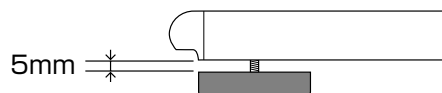
取り付け可能な洋式便器

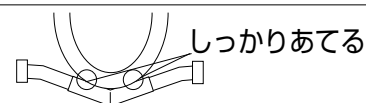
Ⓐ寸法が14cm以上、40cm以下の便器に取り付け可能。

（Ⓐは床から20cmの高さの便器の最大幅）

絶対にしないこと

⚠ 警告

製品が破損、または正常な状態でない時は使用しないこと
高さ調節ボルトがゆるんでいる。便器に固定されていない。接続ナットがゆるんでいる。製品がガタついている等、製品や設置が正常でない時に使用すると、けがの原因になります。

アジャスターは5mm以上伸ばさないこと
取り付けが不安定になり、けがの原因になります。

取り付け可能な便器以外に取り付けないこと
取り付けが不安定になり、けがの原因になります。

連結バーを便器におしつけた状態で取り付けること
取り付けが不安定になり、けがの原因になります。

⚠ 注意

便器がしっかり固定されていること
取り付けが不安定になり、けがの原因になります。

便器固定ノブは、工具を使用して締め付けないこと
破損の原因になります。

安全上のご注意　必ずお守りください

使用上のご注意

必ず実行すること

安全な使い方

トイレで排せつをする時に身体を安定させたり立ち上がるための補助として使用してください。

体重が100kg以下の方が使用してください。

各部の調整（ひじ掛け高さなど）については、販売店やケアマネジャーなど専門家に相談してください。

使用者が介助を必要とする場合は、必ず介助者が付き添ってください。

⚠ 警告

絶対にしないこと

ひじ掛けの上に乗ったりぶら下がらないこと
取り付けが不安定になり、けがの原因になります。

⚠ 注意

必ず実行すること

使用中にゆるみやガタツキが発生した場合は、直ちに使用を中止して必ずお買い上げの販売店にご相談ください
取り付けが不安定になり、けがの原因になります。

絶対にしないこと

ひじ掛けをはねあげたり、元にもどすときは、回転部や回転部のすきまに手や指をそえないこと
けがの原因になります。

体重が100kgを超える方は使用しないこと
製品が破損し、けがの原因になります。

トイレで使用するための「据え置き手すり」以外の用途で使用しないこと
ひじ掛けの上に乗ったり、子供やペットを遊ばせる等、据え置き手すり以外の用途で使用すると、転倒しけがの原因になります。

はねあげたひじ掛けによりかからないこと
けがの原因になります。

お手入れ上のご注意

必ず実行すること

正しいお手入れの仕方

中性洗剤をうすめてスポンジかやわらかい布に含ませ汚れを取ったあと、乾いた布で乾拭きしてください。

⚠ 警告

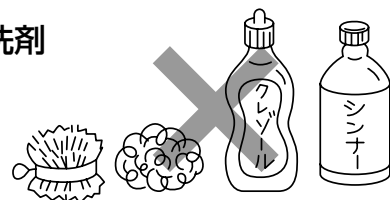
絶対にしないこと

改造や分解をしないこと
けがや破損の原因になります。

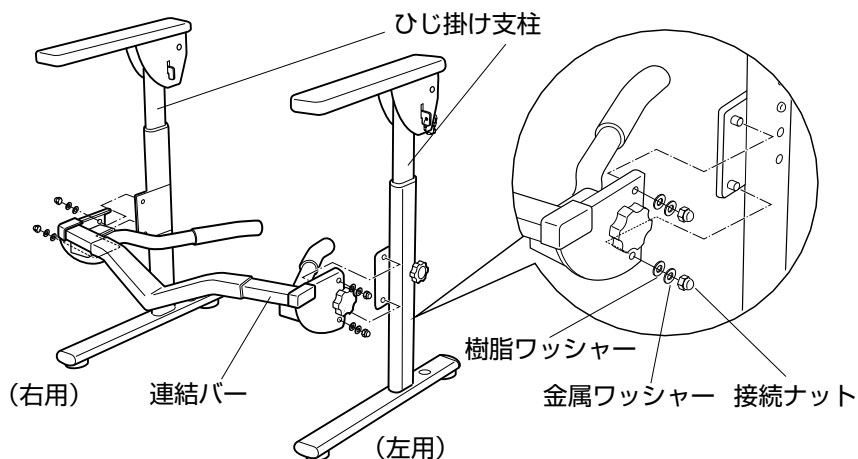
⚠ 注意

次にあげるものではお手入れしないこと

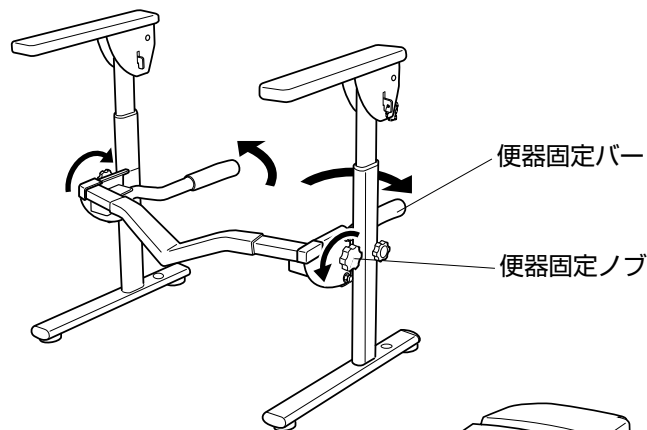
- 塩素系洗剤
- タワシ
- 酸、アルカリ性洗剤
- 研磨剤入りのスポンジ
- シンナー
- 磨き粉
- クレゾール
- 塩素系薬剤をかけての殺菌、消毒
- その他製品を傷付けるもの

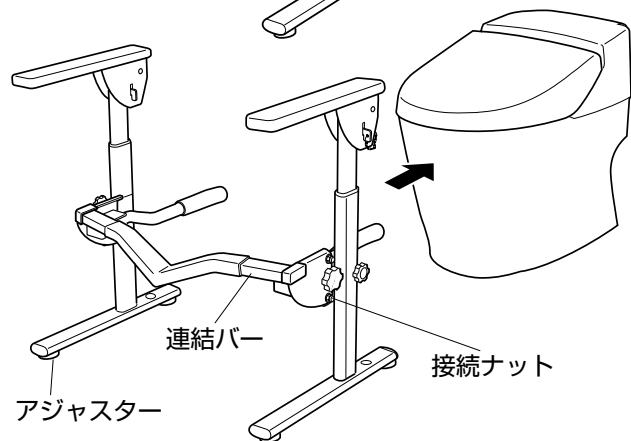
製品が劣化し、けがの原因になります。

取り付け方法

フレームの組みたて方法

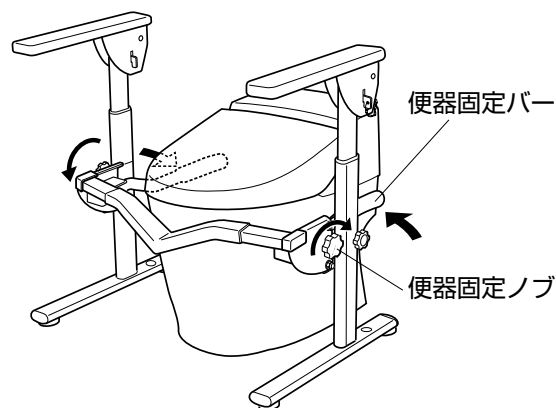
①ひじ掛け支柱には右用と左用があります。ひじ掛け支柱の左右をご確認ください。
※左用のひじ掛け支柱と連結バーに「左」シールが貼ってあります。
②片側のひじ掛け支柱に連結バーを取り付け、樹脂ワッシャー、金属ワッシャーの順に取り付け接続ナットで仮固定してください。
③もう片側のひじ掛け支柱を同様の手順で取り付けてください。

便器への取り付け方法

1 便器固定バーを開く

①取り付ける便器にあわせて便器固定バーを開いてください。

2 便器に取り付ける

①連結バーが便器の先端に接触するように取り付けてください。
②仮止めしていた接続ナットを付属のスパナでしっかり締め付けてください。
③床面の状態によりガタツキがある場合は、アジャスターを調節し床に確実に接地していることを確認してください。

3 便器に固定する

製品が確実に固定されるまで便器固定ノブを締め付けてください。締め付け後、両側のひじ掛けをゆすって、ガタツキが無いことを確認してください。

便器固定ノブは、工具を使用して締め付けないこと
破損の原因になります。

以上の作業で洋式トイレ用フレームS-はねあげRの取り付けは完了ですが、床へ固定したい場合は、5ページの床への固定方法の要領で施工してください。

取り付け方法

床への固定方法

1 床固定に必要な部材（同梱）と工具

部品

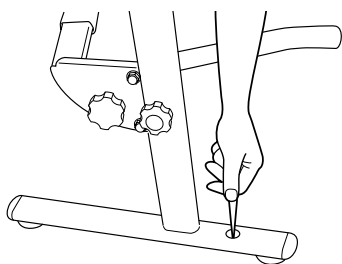
●アンカーボルト（M6）‥‥‥‥‥‥‥‥‥2本
●アンカーボルト用ナット（M6）‥‥‥‥‥2個
●木ねじ（6×30mm）‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥2本
※設置場所に応じてアンカーボルトと木ねじを使い分けます。

工具

●共通で使用する工具
・電気ドリル
●床が木の場合に使用する工具
・ドリル刃（木用φ3mm）
●床がコンクリートやタイルの場合に使用する工具
・ドリル刃（コンクリート用φ6.5mm）
・ハンマー（アンカー固定用）
・ソケットレンチ（10mm）

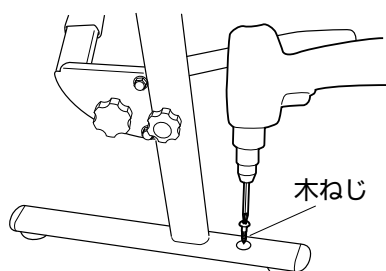
床が木の場合

1 設置場所を決める

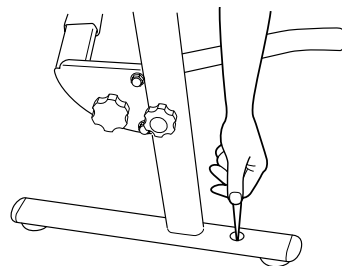
床固定用の穴の位置を決め、穴の中心部にあわせて床に印をつけてください。

2 下穴をあける

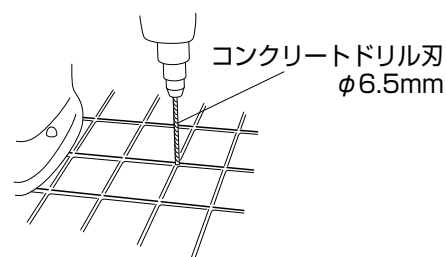
印を付けた穴に、木用ドリル刃でφ3mmの下穴をあけてください。

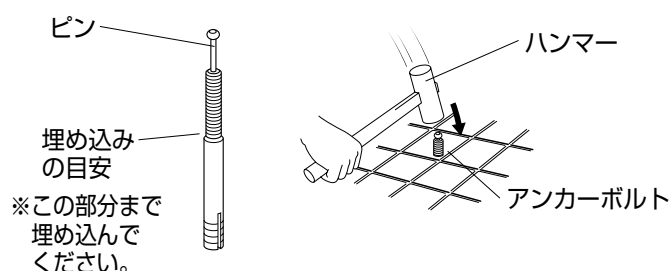
3 固定する

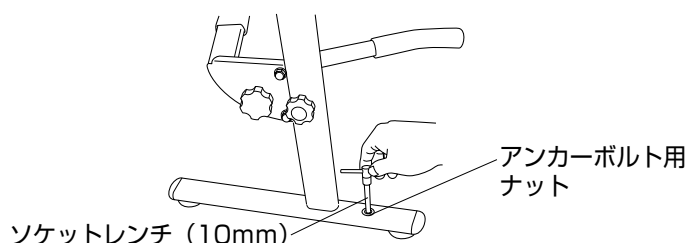
付属の木ねじでしっかり固定してください。

床がコンクリートやタイルの場合

1 設置場所を決める

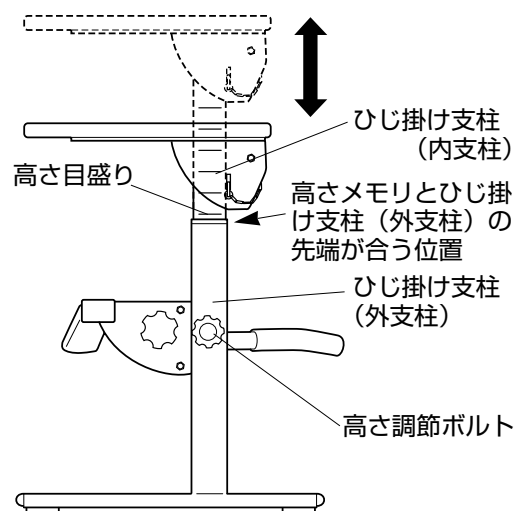
床固定用の穴の位置を決め、穴の中心部にあわせて床に印をつけてください。

2 下穴をあける

S-はねあげRをトイレから外し、床に付けた印の部分にコンクリートドリル刃で下穴をあけてください。（φ6.5mm深さ30mm）

3 アンカーボルトで固定する

下穴にアンカーボルトを差し込みアンカーボルトの頂点に突出しているピンをハンマーで叩き込み、アンカーボルトを固定してください。

4 ナットを締め付け固定する

S-はねあげRを再度取り付け、床固定用穴とアンカーボルトを合わせ、アンカーボルト用ナットをソケットレンチで締め付けて固定してください。

使いかた

ひじ掛けの高さ調節方法

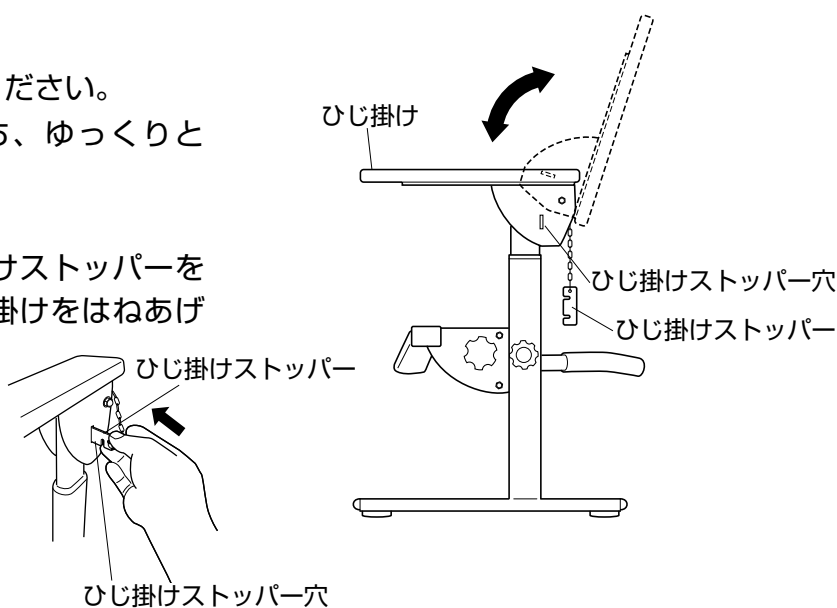
①高さ調節ボルトを抜き、高さ目盛りとひじ掛け支柱（外支柱）の先端を合わせます。
②高さ調節ボルトを穴に差し込み、締め付けて固定します。

注意
ひじ掛けの高さ調節を行うときは、必ずひじ掛けを持つこと
ひじ掛け支柱（内支柱）を握ってひじ掛けの調節を行うと、隙間で皮膚などをはさみ、けがの原因になります。

注意
高さ調節ボルトがしっかり締め付けられ、ひじ掛けにガタツキがないか確認すること
取り付けが不安定になり、けがの原因になります。

ひじ掛けの使用方法

ひじ掛けをはねあげる

①ひじ掛けの先端をもち、上へもち上げてください。
②元に戻すときは、ひじ掛けの先端をもち、ゆっくりとひじ掛けを下げてください。

※ひじ掛けをはねあげない場合は、ひじ掛けストッパーをひじ掛けストッパー穴に差し込み、ひじ掛けをはねあげないこともできます。

注意
ひじ掛けをはねあげた状態でひじ掛けストッパーを使用しないこと
けがの原因になります。

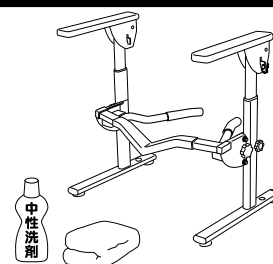
注意
ひじ掛けをはねあげたり、元にもどすときは、回転部や回転部のすきまに手や指をそえないこと
けがの原因になります。

お手入れの方法

お手入れ上のご注意

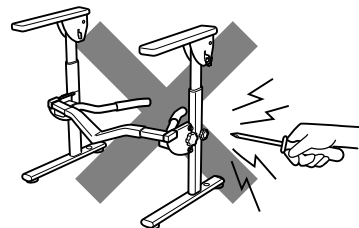
必ず実行すること

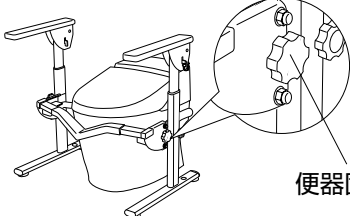
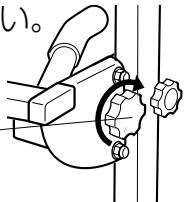
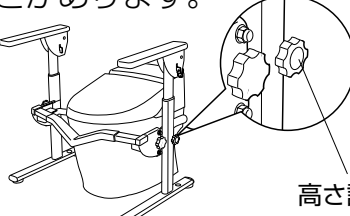
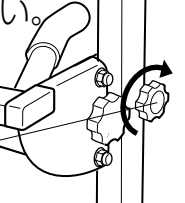
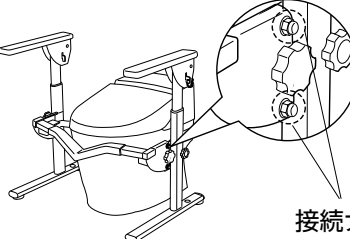
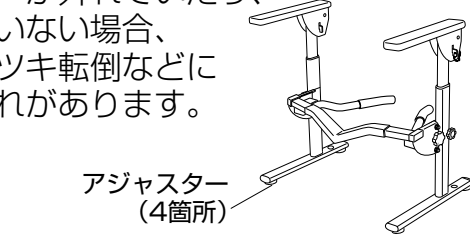
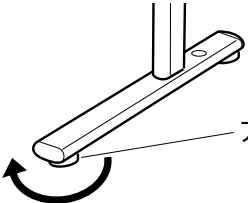
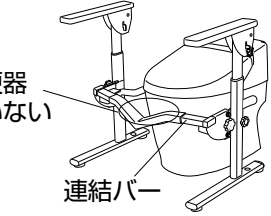
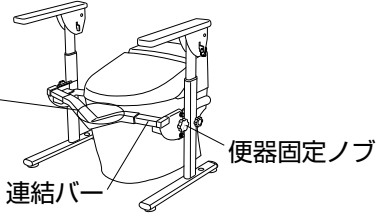
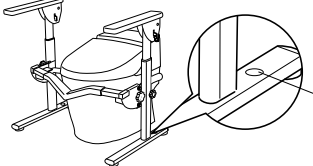
正しいお手入れの仕方

中性洗剤をうすめてスポンジかやわらかい布に含ませ
汚れを取ったあと、乾いた布で乾拭きしてください。

絶対にしないこと

⚠ 警告

改造や分解をしないこと
けがや破損の原因になります。

⚠ 注意

次にあげるものではお手入れしないこと

- **塩素系洗剤**
- **酸、アルカリ性洗剤**
- **シンナー**
- **クレゾール**
- **その他製品を傷付けるもの**
- **タワシ**
- **研磨剤入りのスポンジ**
- **磨き粉**
- **塩素系薬剤をかけての殺菌、消毒**

製品が劣化し、けがの原因になります。

安全にお使いいただくために（点検のお願い）

確認方法

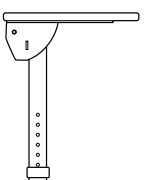
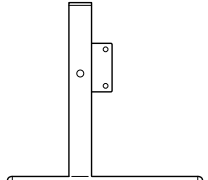
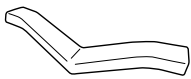
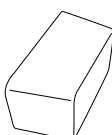
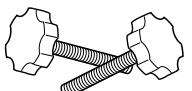
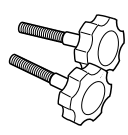
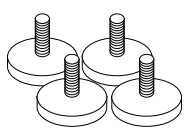
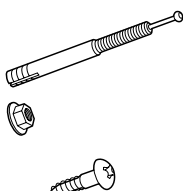
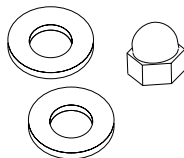
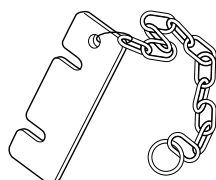
ご使用前に製品を前後・左右にゆらしてガタツキやずれが無いか確認してください。ガタツキが無い場合は、そのままご使用いただけます。ガタツキが有る場合は、下記項目を確認してください。

ガタツキの原因	直し方
便器固定ノブが緩んでいる可能性があります。 便器固定ノブが緩んでいると製品がガタツキ、便器から製品が外れる恐れがあります。 	**便器固定ノブを締め直してください。** ※締め直しできない場合や、締め直しをしてもガタツキが改善されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
高さ調節ボルトが緩んでいる可能性があります。 ひじ掛けがガタツクと、立ち座り動作時に不安を感じることがあります。 	**高さ調節ボルトを締め直してください。** ※締め直しできない場合や、締め直しをしてもガタツキが改善されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
接続ナットが緩んでいる可能性があります。 ひじ掛けが外れ転倒する恐れがあります。 	**お客様は修理を行わず、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。**
アジャスターが調節されていなかったり、外れている可能性があります。 アジャスターが外れていたり、調節されていない場合、製品がガタツキ転倒などにつながる恐れがあります。 	**アジャスターを調節または､取り付けてください。** ※調節できない場合や、調節をしても改善されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
連結バーが便器にあたっていない可能性があります。 連結バーが便器にあたっていないと、取り付けが不安定になり、けがの原因になります。 	**連結バーをしっかり便器にあてた状態で便器固定ノブを締め付けてください。**

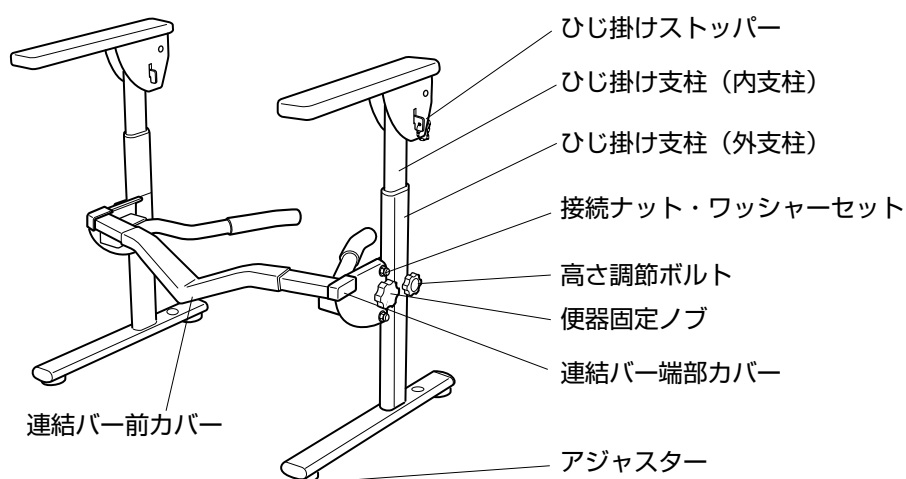
安全にお使いいただくために（点検のお願い）

確認方法

ご使用前に製品を前後・左右にゆらしてガタツキやずれが無いか確認してください。ガタツキが無い場合は、そのままご使用いただけます。ガタツキが有る場合は、下記項目を確認してください。

ガタツキの原因	直し方
床固定をしている場合は、アンカーボルトや木ねじが緩んでいる可能性があります。 アンカーボルトや木ねじが緩んでいる場合、製品がガタツキ転倒などにつながる恐れがあります。	**お客様は修理を行わず、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。**

交換部品

各部品が、汚れたり、破損した場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせの上、
購入してください。（交換については、販売店にご相談ください。）

交換部品

■交換部品一覧

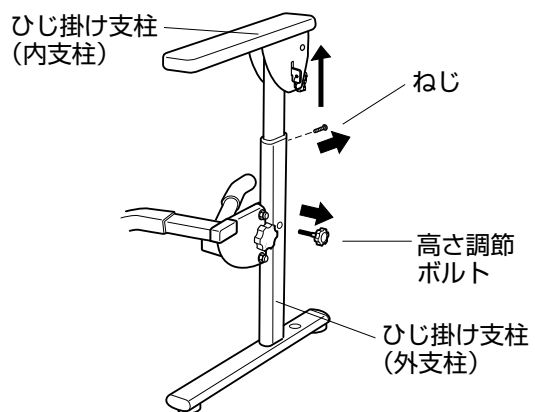
ひじ掛け支柱（内支柱･左右）	ひじ掛け支柱（外支柱･左右）	連結バー前カバー	連結バー端部カバー	便器固定ノブ
高さ調節ボルト	アジャスター	アンカー･ビスセット	接続ナット･ワッシャーセット	ひじ掛けストッパー

交換部品

部品交換方法

ひじ掛け支柱の交換方法

①ひじ掛け支柱（内支柱）を抜き取る

高さ調節ボルトを抜き、ひじ掛け支柱（外支柱）の裏についているねじを外して、ひじ掛け支柱（内支柱）を抜き取ります。

②ひじ掛け支柱（内支柱）を差し込む

新しいひじ掛け支柱（内支柱）を差し込み、ねじを固定した後、高さ調節ボルトでしっかり固定します。